

地域女性活躍推進連携事業【宮城県】

地域の実情と課題

- ①女性の活躍推進に積極的に取り組む企業が県全体に広まっていない。
- ②育児・介護休業制度の理解不足が休業の利用を妨げる一因となっている。
- ③性別による固定的な観念が存在している。(ワーク・ライフ・バランスの推進)
- ④ コロナ禍により、困難や不安を抱える女性や女の子への相談支援体制の強化の必要性

事業の特徴

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」運営・自主事業
- 「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業
- 女性活躍ネットワーク事業
- みやぎの女性つながりサポート型支援事業
- 「女性の活躍促進に向けた取組宣言の実施」
- 「女性人材リスト」の作成

事業の効果

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」において十分な協議及び情報交換ができた。また男女共同参加や女性活躍について知見を深め、現状の共通認識を図れた。
- 「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業を、事業内容を検討の上、感染症対策を踏まえて実施し、普及啓発を図ることができた。
- 女性活躍ネットワーク事業において、各地域団体と連携し、セミナー等を実施することができた。団体の育成支援も図ることができた。
- 宮城県独自の認証企業を対象としたセミナーをオンラインにより実施し、好評を得ることができた。
- コロナ禍により、不安や困難を抱える女性や女の子を対象に、相談支援体制の強化により、寄り添った丁寧な支援を行った。

目的・目標

女性の活躍による地域経済の活性化や多様な地域課題の解決に期待が高まっている中、経済団体や各主団体との連携のもと、県内のあらゆる地域で女性が活躍しやすい環境の整備を推進する。

コロナ禍で困難や不安を抱える女性や女の子を対象に、相談支援体制を強化し、社会との絆・つながりを回復を図る。

連携団体

「みやぎの女性活躍促進連携会議」＜構成団体(五十音順)＞
一般社団法人宮城県経営者協会、公益財団法人せんだい男女共同参画財団、宮城県町村会、仙台経済同友会、仙台市、特定非営利活動法人イコールネット仙台、日本労働組合総連合会宮城県連合会、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合中央会、宮城県、宮城労働局

今後の課題

- 「みやぎの女性活躍促進連携会議」の運営の他、他団体との連携など会議の活動に広がりを持つことができた。今後も、色々な単体等と連携・協力して女性活躍推進に向け、活動を大きく広げていきたい。
- 都市部以外での女性活躍推進の気運を盛り上げるため、県として都市部以外での事業実施を、更に推進していきたい。
- 各地域に根差して活動しているNPO同士の親睦・連携。県とそれらNPOとの連携の強化。
- 困難や不安を抱える女性や女の子に対する、継続的な相談支援体制の強化。

女性活躍促進の普及啓発・意識改革

「みやぎの女性活躍促進サポーター」養成事業

宮城県内のあらゆる地域で、女性が活躍しやすい環境の整備を推進することを目的に、研修会を3町で開催し、交流会を仙台市で開始した。

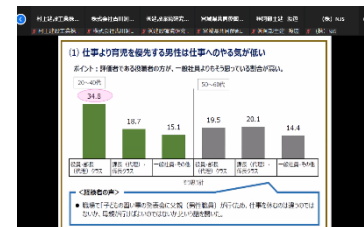
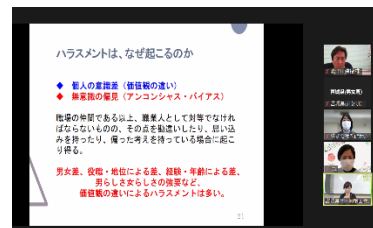
講演会やワークショップを通じ、「女性活躍促進」について正しく理解し、働き方などの意識を変えていただくきっかけづくりを行った。



みやぎの女性活躍促進連携会議」運営・自主事業

知事表彰に併せて行っていたシンポジウムは、新型コロナウイルス感染症の拡大影響により中止となったが、代わりに、宮城県独自の企業認証制度の認証を受けている企業を対象としたセミナーを、オンラインにより実施した。

アンコンシャス・バイアスとイクボステーマとしたところ、企業の関心は高く、予定を超える企業からの応募があり、大変好評であった。



各地域での女性活躍促進

女性活躍ネットワーク事業

県内の各地域に根ざして活動しているNPO等との連携によりセミナー等を実施し、より身近な地元レベルからの男女共同参画や女性活躍推進の理解促進を図ったもの。



困難や不安を抱える女性・女の子への支援

みやぎの女性つながりサポート型支援事業

新型コロナウイルス感染症により、困難や不安を抱える女性について、地域の実情に応じた支援が可能なNPO等の知見を活かし、社会との絆・つながりを回復するため、重点的に寄り添った支援を行ったもの。

独自に事業を実施する仙台市を除いた県内を5地域（県南、仙台北、石巻、栗原・大崎、気仙沼・登米）に分け、それぞれの地域においてNPO法人等へ、事業を委託して実施したもの。

官民連携の推進体制

みやぎの女性活躍促進連携会議